

大椿ゆうこを応援してください!

参議院議員になって、ますます活動の場を広げている大椿ゆうこ。2025年の参議院選挙まで1年半を切りました。大椿ゆうこの後援会「大椿ゆうこを推す会」にぜひご入会いただき、応援してください。

大椿ゆうこを推す会

年会費：6,000円
サポート会員：3,000円

【入会申込】
下欄の連絡先に、お名前・ご住所・お電話番号・メールアドレスをお知らせください。寄付でのご支援もよろしくお願いいたします!

会費と寄付はこちらまでお願いします

振込先：大椿ゆうこを推す会

近畿労働金庫 梅田支店 ※近畿労働金庫の口座へ入金された方は、メールで名前と住所をお知らせください。

普通 9260102

ゆうちょ銀行
振替口座 00990-1-323842



社民党を応援しよう!

サポーターになって応援!

社民党を応援していただける18歳以上の方はどなたでも参加OK。日本に3年以上定住する外国人の方もご参加いただけます。年会費は1,000円です。

- ①オンライン申込、または
- ②社民党全国連合、または各都道府県連・党所属議員・党員等に問い合わせることで、登録可能です。

■問い合わせ先：社民党全国連合
TEL：03-3553-3747(組織団体局)
メール：soshiki@sdp.or.jp

サポーター登録・
機関誌のお申し込み
はオンラインでも
可能です



読んで応援!

社会新報

社民党の機関紙『社会新報』は、国会の動きや党の主張運動をわかりやすく解説すると共に、各地域の活動や、多くの市民運動の動きについても紹介しています。

■発行概要：週刊/毎週木曜日発行 タブロイド判8ページ

■購読料：1ヶ月720円(送料168円)

月刊社会民主

社民党の月刊誌『月刊社会民主』は、タイムリーな特集をはじめ、社会民主主義についての理論、議論や国内外の政治・社会・文化・運動を幅広く、きめ細かくフォローしています。

■発行概要：月刊/毎月1日発行 B5版70ページ前後

■購読料：1冊670円(送料79円)

■社会新報・月刊社会民主のお申し込みはこちら
TEL：03-3553-3787(機関紙宣伝局)
メール：kikanshisenden@sdp.or.jp

編集
後記

万博を巡る迷走から、大阪でも維新の威勢が崩れる気配が出てきました。国会で折に触れ維新批判を展開する大椿議員の議席は、大阪の人々の思いを国にぶつける貴重な1議席だと実感します。

市民運動の高齢化が心配されていますが、ガザでの停戦を求める運動には若い世代もたくさん参加しています。2024年も引き続き、新たな繋がりを作りながら、「がんこに平和」という社民党の訴えを広げるよう尽力します。(秘書 西尾)

web

各種SNSへはこちらで検索

大椿ゆうこ 検索

大椿ゆうこ公式HP
へはこちらから



連絡先

大椿ゆうこ東京事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館906号室
TEL：03-6550-0906
FAX：03-6551-0906
メールアドレス：
ohtsubaki73@gmail.com

大椿ゆうこ茨木事務所

〒567-0816 大阪府茨木市永代町5-116
ソシオ1-1階
TEL：072-648-7846
FAX：072-648-7844
メールアドレス：
ohtsubakijimu2021@gmail.com

愛と連帯

大椿ゆうこの
国会レポート
2024.1.1

vol.2

社会新報

2024年新春号外
1951年12月7日第3種郵便物認可
発行所
社会民主党全国連合機関紙
宣伝局 週刊(木曜日発行)
〒104-0043 東京都中央区湊
3-18-17マルキ根本ビル5F
電話代表 03(3553)3787
振替 00140-1-3203
●定価185円 ●1ヶ月720円
●送料168円

2023年12月7日 厚生労働委員会
労働基準監督署の対応について質問。
「労働者が問題を抱えた時に門を叩くのは労働基準監督署。労働者に誠実な対応を」と迫る大椿ゆうこ。

質問が
楽しい!

大椿ゆうこ
臨時国会で本領発揮!

みんな! 私を国会に送ってくれてありがとう!

第122回国会(臨時国会)が、2023年10月20日~12月13日の55日間にわたって行われました。今国会から、念願だった厚生労働委員会に配属された大椿ゆうこ。初めての質問の日、先の見えない中、数年間にわたり応援し続けてくれたみなさんの顔が浮かび、「私をここに立たせてくれてありがとう」と感謝の気持ちでいっぱいになりながら、熱意を込めて質問をしました。やり終えた後、「質問が楽しい!」と思えたことも新鮮でした。非正規労働者の声を国会に届ける、その信念に基づいて、これからも取り組んでいきます。

今、国会は、自民党のパーティ券裏金問題で大きく揺れています。安倍元首相の威光で守られてきた安倍派が確実に溶け始めています。このような政党が、長年にわたりこの国の政権を担ってきた事実、私たちは耐えられるでしょうか? この問題をうやむやにして終わらせず、徹底的に膿を出すためにも、怒りの声を上げ続けましょう。

大椿ゆうこ プロフィール

社民党副党首、参議院議員。
1973年岡山県高梁市生まれ。
2013年から大阪府在住。
四国学院大学社会学部社会福祉学科卒。就職氷河期世代。
非正規労働者として働き、解雇された経験が、政治に取り組む原動力に。2023年4月7日、参議院議員に繰り上げ当選。
家族はカチューニャ人のつれあいと保護猫2匹。
社会福祉士、精神保健福祉士、保育士資格を保持。

全国で 国政報告!

大椿ゆうこの声を
どこまでも届けたい。



7/8 大阪府・大阪市



地元大阪で150人の支援者さんと

どっこい どっこい 社民党!

7/29 滋賀県



国政報告会の前に膳所駅前
で街宣!

8/3 新潟県



新潟市議会議員 いしづき幸
子さんがおしゃべり会を企画
してくれました。

8/10 岩手県・花巻市



岩手県議会議員 木村幸弘さ
んと。
直後の選挙で無事5選!!

8/11 大阪府・能勢町



農家が多い能勢町。
農業政策について活発な
意見が出された。

8/12 大阪府・茨木市



事務所がある茨木市でも
国政報告会開催。

8/19 大阪府・箕面市



箕面でも国政報告会。
支援者のみなさんと。

8/22 長崎県・福岡県



新垣クニオ衆議院議員と
九州をまわりました。
長崎からスタート!

8/23 福岡県・鹿児島県



福岡11区予定候補のしき玲
子さんと市民の声を聴きま
した。

8/24 鹿児島県・宮崎県



鹿児島で国政報告。

9/3 新潟県



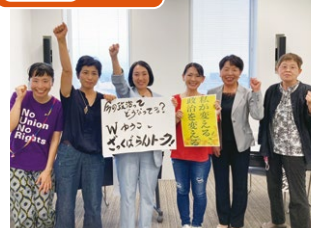
新潟で困難女性支援法につ
いて勉強会。

9/16 東京都



手仕事をしながら日頃感じ
ている社会や政治のことにつ
いておしゃべり。

9/30 香川県



三木町議会議員 みぞぶちゆ
う子さんと高松市議会議員
太田あゆみさんとトーク。

11/24 福岡県



非正規雇用フォーラムで講演後、博多駅前
で村田しゅんいち福岡1区予定候補と街宣。

11/26 奈良県



ジェンダー平等講座として、国政報告と
困難女性支援法について話しました。

12/3 千葉県



たくさんの質問が出た国政報告会
でした。



大椿ゆうこ 活動スナップ

たくさんの場所を訪れ、社会をより良くしよう
と行動し続ける多くの人々に会いました。
これからも、全国各地を駆け回ります!



中小企業等協同組合法及び独占禁止法に関する質問主意書提出

「中小企業等協同組合法」に基づき設立された「大阪広域生コンクリート協
同組合」(以下、広域協)に加盟していない非加盟の生コン業者が、セメントメ
ーカーや一次販売店からセメントや骨材等の取引を拒絶されている問題について、
「事業者は、不公正な取引方法を用いてはならない」と定めた、独占
禁止法第19条の規定に違反するものであるとして、質問主意書を
提出しました。内閣からの答弁書を受け、12月21日記者会見を開
き、大阪の生コン価格が全国平均の1.29倍高いこと、大阪・関西
万博建設に与える影響、業者締め出し問題と、広域協と大阪府
市の癒着について報告しました。この問題、引き続き注目を!



質問主意書と
答弁書はこちら
から読めます



業者締め出しの実態を、記者会見で証言して
くれた今栖産業株式会社社長の島田弦季さん。

2023年10月20日に召集された第212回臨時国会で、大椿ゆうこは厚生労働委員会、行政監視委員会、消費者問題に関する特別委員会、外交・安全保障に関する調査会の4つの委員会・特別委員会・調査会に所属することになりました。

前国会で当選後に所属した農林水産委員会によく慣れてきたところでしたが、新しい所属はどれも大椿が取り組みたい課題に関わる内容。不慣れではありますが、**体当たりで取り組みます。**

11/16 厚生労働委員会

非正規増加の要因は「女性のニーズ」ではない

大椿ゆうこの厚労委員会での初質問です。武見敬三大臣に対して「ロストジェネレーション、非正規労働者の私たちは、政治の中で捨ておかれてきた存在」、「クビを切られた非正規労働者の当事者として、そんな人たちの声をしっかりと政治に届けたい」と決意を表明。さらに前週11/9の委員会で立憲・社会派の議員に非正規雇用が拡大した理由を問われた大臣が「女性の労働への参加、さら

に健康な高齢者の参加といったようなものがあって、就労参加が進む中で労働者のニーズにより増加してきた」と答えたことについて、「あたかも女性が非正規労働を望んだかのように聞こえる」と厳しく追及。大臣は「不本意で非正規雇用労働者になった方々への対策は着実にしっかりと進めていかなければならない」と答弁しました。

不当労働行為のやり得・やり逃げを許さない

次に労働委員会による不当労働行為救済制度について、大阪府労働委員会が救済命令を出しているにもかかわらず、企業が命令の履行を拒否している事例を挙げて質問しました。「使用者には初審命令を履行する義務があると厚労省のHPにも明記されている。中央労働委員会の再審査や裁判で命令が確

定する前でも履行させる必要がある」と追及する大椿議員に、大臣は「罰則規定を置いて、強制化するところまで持っていけるかどうか、実態を把握しながら進めていく必要がある」と、罰則規定を置く議論に含みのある答弁をしました。一歩前進です。

大椿ゆうこは、労働委員会命令の実効性を高めていくため、引き続き取り組みます。

11/17 消費者問題特別委員会

ギャンブル依存症を増やすカジノに反対!

消費者問題特別委員会では、大阪府・大阪市が誘致を目指す統合型リゾート(IR)のカジノによるギャンブル依存症問題について、自見英子内閣府特命担当大臣らをただしました。

大椿は「大阪・関西万博とその跡地に2030年秋頃の開業予定のカジノは一体のもの。大阪・関西万博はカジノを誘致するための呼び水であり、公金でインフラを整えた跡地にカジノを開業するために開催されるとの考えは大阪の政治においては常識だ」と、万博とカジノは別物だという国の認識を否定。

ギャンブル依存症被害者の相談活動をする「大阪いちょうの会」の新川眞一事務局長が「夢洲カジノ計画を断念することが最大の依存症対策」と発言していることを指摘しました。「医師としての視点も踏まえ、依存症対策の決意を聞きたい」と迫る大椿に、自見大臣は「消費者に広く周知啓発していくことは非常に重要」などと答えました。



自見英子内閣府
特命担当大臣・
国際博覧会担当大臣

大椿ゆうこが大活躍!!

第212回

臨時国会で

12/5 厚生労働委員会

改正大麻取締法、使用罪創設の問題を指摘

第212回臨時国会に厚生労働省が提出した法案は「大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律案」の1本でした。法案は大麻草から製造された医薬品を解禁し、一方でこれまで所持や栽培が禁じられながら罰する規定がなかった使用(法文上は「施用」)について刑罰を設ける内容です。

大椿はてんかん等に有効とされる医療用途の解禁には賛成しつつ、使用罪の創設には慎重な態度で臨みました。

委員会では、法案が「医療のニーズへの対応と、薬物乱用への対応という趣旨と目的が異なる政策を抱き合わせ」にしていることを批判。大麻を使用した者に刑罰を課すことは、

その後の支援策と切り離すことになり、かえって社会復帰を困難にしかねないことを指摘しました。

会派の厚生労働部門会議でも積極的に発言し、「大麻を不正に施用した若者等を治療や回復に、更生につなげるとの考え方も踏まえた運用を行うこと」、「社会復帰の妨げとなることへの懸念も踏まえて関係機関は対応すること」、「利用しやすい相談支援体制が整備拡充されるよう周知すること」などとした附帯決議がなされました。



武見敬三厚生労働大臣



12/7 厚生労働委員会

いのちのとりで裁判、名古屋高裁判決の受け入れ求める

厚生労働委員会2度目の一般質疑です。国会の委員会の審査の中心は法律案の是非を議論する「法案審議」ですが、「一般質疑」は議題を絞らず厚生労働行政全般について幅広く質疑することが出来ます。この日は、11月30日に下された、「いのちのとりで裁判」の名古屋高裁判決と、大阪の労働基準行政のあり方を取り上げました。

「いのちのとりで裁判」は2013年の生活保護費の引き下げをめぐる全国で1000人を超える原告が国を訴えています。名古屋高裁は国の主張を全面的に退けて、「少なくとも重大な過失」があると厳しく批判しました。

保護費減額ありきで国が行った「ゆがみ調整」、「デフレ調整」のあり方について厳しく問いただし、判決を受け入れるよう求めました。(国は12月13日に上告)

また大阪の労働基準監督署が相談に来た労働者に対して不誠実な対応をとった事例をあげ、この際の「組合が手を引くか、労基が手を引くか選択しろ」、「裁判をやった方が早い」といった監督官の発言に関して、国の考えをただしました。政府から、「労働組合は労働者と寄り添っていろいろなことを問題解決するもの」で「そういった取組とは連携をしてまいりたい」との答弁を引き出すことが出来ました。



★ カタルーニャにとっての自己決定権とは

10月4日参議院議員会館にて、バルセロナ大学教授で経済学者のElisenda Paluzie(エリゼンダ・パルジエ)さんをお招きし、『カタルーニャにとっての自己決定権とは～独立運動と国家によるデジタル監視』と題した講演会を開催しました。2019年、バルセロナにあるAssemblea Nacional Catalana(カタルーニャ国民会議)の代表を務めておられた彼女を訪ねたことがきっかけで、今回の開催につながりました。

講演会は、カタルーニャ語から日本語に通訳する形で行われました。かつてカタルーニャ語は、使うことが許されなかった言語です。「カタルーニャ語で、今日の講演ができることを嬉しく思う」とのパルジエさんの言葉が胸に響きました。

カタルーニャでは、スペインからの独立を望む



運動が盛んです。その歴史的な背景を説明しながら、独立運動の現状とスペイン政府の対応、カタルーニャ人が自己決定権を主張する正当性について話されました。

講演を聴きながら、私は沖縄のことを考えました。県民投票で「辺野古新基地建設反対」の民意を示しても、工事が進められる沖縄。「自分たちの地域の問題は自分たちで決める」この自己決定権を権力者たちが奪い、人々の無関心がさらにその横暴に力を与える状況は、この日本の中にもあるのではないかと考えさせられる講演会でした。



Elisenda Paluzie バルセロナ大学教授

映画 ここから「関西生コン事件」と私たち 上映会

12月11日、国会関係者を対象に、ドキュメンタリー映画『ここから「関西生コン事件」とわたしたち』の上映会を参議院議員会館にて開催しました。

2018年から始まった連帯ユニオン関西生コン支部(関西で生コンを運ぶミキサー車の運転手らでつくる労働組合)への弾圧事件は、業界ぐるみの大量解雇、警察・検察がつぎつぎと組合員らを逮捕していく事態へと発展しました。

家族と引き裂かれ、多くの仲間たちが組合を去り、ネット上ではフェイク情報が拡散される。それでも組合に踏みとどまり、闘い続ける組合員ひとりひとりの姿を追った作品です。

上映後、土屋トカチ監督、主人公の松尾聖子さん、全日本建設運輸連帯労働組合書記長・小谷野毅さんとトークセッションを行いました。



左から大石あきこ衆議院議員、土屋トカチ監督、松尾聖子さん、小谷野毅さん、大橋ゆうこ、山本太郎参議院議員

映画を観たれいわ新選組の山本太郎参議院議員は、「関西生コン=反社会勢力だと思っていた」と率直に当初の印象を語りながらも、大石あきこ衆議院議員(れいわ)を通じて、正当な活動をしている「労働組合」であることを理解した、「いい作品だった。泣きました」と話してくれました。

私がなぜこの映画を国会の中で上映したかったか? それは、一部の政治家たちが、関西生コンに関する誤った認識を、国会質疑やネットを通じてオモシロおかしく拡散してきたからです。

それによって、組合員はもとよりその家族も、誹謗中傷にさらされることになりました。その重大さをこの映画を通じて知ってほしかったのです。これからも、国会の中に労働運動の大切さを心底理解する仲間をつくり、労働者の権利拡充の機運をもりあげていきたいです。

「解散」をチラつかせると、問題が勃発する岸田政権。そのたびに支持率が低下し、解散が先送りに。彼らは、自分たちが勝てない時に解散はしませんが、いつあってもおかしくないのが衆議院選挙です。各地で、社民党の予定候補者が地道な活動を続けています。自身の任期中に改憲を実現したいと意欲を見せる岸田首相。国会議員の3分の2以上が改憲派です。

防衛費の拡大も止まりません。今こそ、「憲法を活かそう」と訴え続ける社民党の存在が必要です。どうか全国から、社民党予定候補者への応援をお願いします。

沖縄2区 予定候補

新垣クニオ

衆議院議員(1期)・社会民主党副党首 北中城村
村長4期 確かな実績



ウチナーの未来は
ウチナーンチュが決める!

福岡1区 予定候補

村田しゅんいち

31歳 パイセクシャル
めざすは公共の立て直し



多様性よ咲き誇れ

福岡11区 予定候補

しき玲子

高校教諭34年
子どもの貧困・虐待をなくす



あなたに寄り添う政治
しきり直すのは今

愛知6区 予定候補

大西雅人

28歳 フリーター
Z世代が立ち上がる!



新しい仕組み
新しい社会

今こそ政権交代

もうムリだよ
自民政権!



衆院選 社民党予定候補 を紹介します。

大阪9区 予定候補

ながさき由美子

保育士経験25年
外国籍の子どもたちを
長年支援



がんこに平和
いかそう多様性

福岡4区 予定候補

そうあきこ

築上町議会議員(2期)
即戦力の「走る」女
※趣味はマラソン



あなたのくらしが
一番だいじ!

熊本3区 予定候補

橋村りか

障害のある娘と共に生
きてきた いのちを大
切にする政治へ



声なき声をつむぐ

比例代表 予定候補
北陸信越ブロック

堀井修

元農業改良普及員
防衛費増額より、農業を
持続可能な産業に



取り戻そう
百姓の自信と信念を

※今後も全国から、新たな候補者を擁立する予定です。